

第2号様式（第4条関係）

地域づくり総合支援事業（ふるさと・きずな維持・再生支援事業）
事業計画（変更計画）書

平成26年4月17日

一部修正 平成26年5月30日

1 実施主体

(1) NPO法人等が申請する場合

| | | | | |
|------------------|--------|--------------------------------------|------|--------------|
| NPO法人等 (実施主体) | 種別及び名称 | 特定非営利活動法人 ちば市民活動・市民事業サポートクラブ | | |
| | 住所 | 千葉県千葉市美浜区真砂 5-21-12 | | |
| NPO法人等 (連携先) | 種別及び名称 | 任意団体ちばNPO協議会 | 担当者名 | 大森智恵子 |
| | 住所 | 千葉県千葉市中央区新千葉 2-17-6 サンコート新千葉 102号 | 電話番号 | 043-301-7262 |

(2) 協議体が申請する場合

| | | | |
|-----------------------|---------------------|--------------|--------------|
| 協議体の名称 | | | |
| 代表構成員の団体名 及び代表者職氏名 | | | |
| 構 成 団 体 | 都道府県・市区町 村名及び部課名 | 事業における 役割 | |
| | 民間非営利組 織の種別・名称 | | 事業における 役割 |
| | | | |
| | | | |
| 住所 | | 電話番号 | |

2 事業概要

| | |
|---------|----------------------------------|
| 事業名 | 福島への思いを大事に、千葉での暮らしを支えるプロジェクト2014 |
| 総事業費 | 3,431,000円（うち希望補助金額 2,744,000円） |
| 事業の実施期間 | 平成26年6月1日から平成27年3月31日まで |

注：補助対象期間は補助金の交付決定日からとなります。

3 事業計画

| | |
|------------------------|--|
| 地域における 課題と事業の 目的 | 福島県からの千葉県内への避難者数は3,313名（2014.3.31現在）となっています。避難者数の変動はほとんどありませんが、震災から3年が過ぎ、避難者ひとりひとりの状況は変わりつつあります。前年度の事業を通して、認識できた下記の課題に積極的に取り組みたいと思います。 |
|------------------------|--|

| | |
|-------|--|
| | <p>○慣れない暮らしに戸惑い、家にこもりがちの状態が続く。</p> <p>避難先の暮らしになじめず、周囲の人との交流もないといった状況にある被災者の状況を踏まえ、被災元が同じ人、同様の境遇にある人との交流を目的とした交流会やバス旅行等を実施します。また、交流会では、被災元自治体職員との交流、情報交換や弁護士や保健師、臨床心理士といった専門家による相談対応ができるような設定をし、被災者の生活不安が軽減できるようにします。</p> <p>○避難先での生活情報や支援情報を得られず、必要な支援が得られない。</p> <p>市民活動団体が開催する被災者向けの交流サロンやイベント情報、弁護士や臨床心理士といった専門家の相談窓口等についての情報を掲載した情報紙を作成、送付することにより、被災者の暮らしの改善につなげます。</p> <p>○避難先によって、市民活動団体や自治体等の支援内容に隔りがある。</p> <p>被災者支援の活動を行っている団体、避難先自治体、専門家（臨床心理士、保健師等）をメンバーとする被災者支援情報交換会を定期的に開催し、支援内容を共有するとともに、必要な支援を作り出します。</p> <p>○就労の意思がありながら働き口が見つからない。</p> <p>避難先自治体やハローワークと情報交換、課題共有し、企業紹介等、就労につながるような支援を行います。</p> <p>○被災者と避難先地域住民の交流が進まない。</p> <p>一般市民、市民活動団体、自治体職員等を対象とした学習会を開催し、被災者の状況や生活課題を理解し、改善のための取組みを促します。学習会の内容には、災害時の対応についての視点も加え、災害時に備えるための基盤づくりにつなげます。</p> |
| 事業の目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・支援内容の充実を目指して、被災者支援情報交換会に避難先自治体職員の参加を促します。支援団体にプラスして10自治体の参加を目標とします。 ・福島県を中心とする東北の被災者を対象とする交流会を100名前後の参加を得て1回開催します。日帰りバス旅行を各40名前後の参加を得て、1回開催します。 |
| 事業内容 | <p>本事業では、東日本大震災による被災者が、1.震災前の福島での暮らしを大事にし、福島県民としてのアイデンティティを保つこと、2.千葉での暮らしに慣れ、生きがいや仕事を見つけることの二つの視点を大事にします。</p> <p>1. 被災者間、被災者と地域住民の交流を進めるための企画を実施</p> <p>被災者間、被災者と支援者間の交流を目的とした「縁 joy 東北 大交流会」を開催します。「縁 joy 東北 大交流会」は、被災元職員や弁護士、臨床心理士、保健師といった専門家の協力を得て、相談対応の場を設定</p> |

| | |
|---------|--|
| | <p>するとともに、被災者自身が主体的に出展できるように工夫します。また、福島県の物産の販売やハンドマッサージ、手芸工作、体操など、被災者や支援者、一般市民と一緒に楽しく過ごすことができるような内容とします。</p> <p>また、企業の工場見学や千葉県内の観光地を訪ねる「千葉を楽しむバス」を運行し、バス車内での参加者間の交流、訪れた先での地域の人との交流により、暮らしへの不安感を軽減します。</p> <p>2. 情報紙「縁 joy」の編集、発行</p> <p>避難先での生活情報や支援情報を掲載した被災者向け情報紙「縁 joy」を月 1 回編集、発行し被災元自治体の広報紙に同封依頼し、福島県からの被災者全世帯に届けます。被災者にとって、より有用な内容での紙面づくりができるよう、県内被災者に向けて、編集ボランティアや発送ボランティア（いずれも有償）を募集します。</p> <p>3. 被災者支援情報交換会、実行委員会の開催</p> <p>平成 25 年度事業の中で、被災者支援の活動を行っている団体、専門家（臨床心理士、保健師等）、千葉県職員の参加を得て開催していた被災者支援情報交換会に、千葉県内の自治体職員（避難者が居住する自治体）の参加を新たに依頼し、支援内容を共有するとともに、必要な支援を作り出します。被災者支援情報交換会は、2ヶ月に1回程度開催し、必要に応じて実行委員会と兼ねるものとします。</p> <p>4. 就労支援の場の設定</p> <p>就労の意思があっても、住民票が被災地にある等の理由で、就労できない事例もあります。千葉県担当課やハローワークと課題共有し、働きたい人と受入れができる企業とのマッチングの機会を作ります。</p> <p>5. 被災者の状況や支援活動についての学習会の開催</p> <p>千葉県内で暮らす被災者の人数や状況について周知し、必要な支援は何かを地域の人たちに考えてもらう機会を増やします。また、災害時の対応とそのためネットワークづくりにつながるような機会とします。</p> <p>※上記事業の実施は、当団体事務所内に在駐する浪江町復興支援員千葉県駐在およびちばNPO協議会との連携により進めます。</p> |
| 見込まれる成果 | <p>1. 本県の復興支援・被災者支援の観点</p> <p>[直接的な効果]</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存の交流サロンの認知度を高めるとともに、新規の交流サロンの設置を促進することで、被災者の孤立化を防止します。 (情報紙「縁 joy」に毎号、10～15 の交流サロン、交流企画情報を掲載し、被災者、一般市民に案内する) 「縁 joy 東北 大交流会」の開催、日帰りバス旅行の実施を通して、被災者間、被災者と支援者間の交流を進めるとともに、被災者の千葉での暮らしへの不安を軽減します。(参加者数：140名) |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|---|--|----|---|----|--|----|---|----|---|-----|---|-----|---|-----|---|----|--|----|--|
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・ 就労の意思のある被災者への就労支援により生活再建を進めます。 (就労目標：3件) ・ 学習会の開催を通して、被災者の状況の理解と支援の広がりを作ります。(参加者数：60名) ・ 被災者支援情報交換会への避難先自治体の参加により、支援団体と自治体との連携を促すとともに、支援の平準化をはかります。 <p>[波及効果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報紙「縁 joy」の発行や学習会等の開催を通して、被災者の状況についての理解が深まり、支援の輪が広がります。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 2. 取組実施主体の運営力強化の観点 | <p>今後、関東圏においても大地震が起きる可能性は大きいと言われてい ます。災害時に、こういった力が必要とされるのか、福島県からの被災 者への支援を通して、NPO、自治体、企業等が持っている力と姿勢が 確認できるとともに、千葉県が被災県になった際の有用なネットワー クづくりにつながると考えます。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業 スケジュール | | <table border="1"> <tr> <td data-bbox="432 869 560 1010">6月</td> <td data-bbox="560 869 1394 1010"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報紙「縁 joy」編集、発行 ・ 「千葉を楽しむバス」実施準備 ・ 被災者支援をテーマにした学習会の開催準備 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="432 1010 560 1122">7月</td> <td data-bbox="560 1010 1394 1122"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 被災者支援情報交換会・「縁 joy 東北 大交流会」実行委員会開催 ・ 情報紙「縁 joy」編集、発行 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="432 1122 560 1234">8月</td> <td data-bbox="560 1122 1394 1234"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「千葉を楽しむバス」 ーファンケル工場見学と野田の街歩きー参加者募集 ・ 情報紙「縁 joy」編集、発行 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="432 1234 560 1413">9月</td> <td data-bbox="560 1234 1394 1413"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 被災者支援情報交換会・「縁 joy 東北 大交流会」実行委員会開催 ・ 「千葉を楽しむバス」実施準備 ・ 被災者支援をテーマにした学習会開催 ・ 情報紙「縁 joy」編集、発行 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="432 1413 560 1592">10月</td> <td data-bbox="560 1413 1394 1592"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「千葉を楽しむバス」 ーファンケル工場見学と野田の街歩きー実施 ・ 情報紙「縁 joy」編集、発行 ・ 「縁 joy 東北 大交流会」についての広報開始 ・ 情報紙「縁 joy」編集、発行 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="432 1592 560 1749">11月</td> <td data-bbox="560 1592 1394 1749"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 被災者支援情報交換会・「縁 joy 東北 大交流会」実行委員会開催 ・ 「縁 joy 東北 大交流会」開催準備 ・ 情報紙「縁 joy」編集、発行 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="432 1749 560 1861">12月</td> <td data-bbox="560 1749 1394 1861"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「縁 joy 東北 大交流会」開催 (12月初旬に千葉市で開催予定) ・ 情報紙「縁 joy」編集、発行 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="432 1861 560 1962">1月</td> <td data-bbox="560 1861 1394 1962"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 被災者支援情報交換会開催 ・ 被災者支援、災害時対応をテーマにした学習会開催準備 ・ 情報紙「縁 joy」編集、発行 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="432 1962 560 2033">2月</td> <td data-bbox="560 1962 1394 2033"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 被災者支援・災害時対応をテーマにした学習会開催準備 ・ 情報紙「縁 joy」編集、発行 </td> </tr> </table> | 6月 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報紙「縁 joy」編集、発行 ・ 「千葉を楽しむバス」実施準備 ・ 被災者支援をテーマにした学習会の開催準備 | 7月 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 被災者支援情報交換会・「縁 joy 東北 大交流会」実行委員会開催 ・ 情報紙「縁 joy」編集、発行 | 8月 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 「千葉を楽しむバス」 ーファンケル工場見学と野田の街歩きー参加者募集 ・ 情報紙「縁 joy」編集、発行 | 9月 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 被災者支援情報交換会・「縁 joy 東北 大交流会」実行委員会開催 ・ 「千葉を楽しむバス」実施準備 ・ 被災者支援をテーマにした学習会開催 ・ 情報紙「縁 joy」編集、発行 | 10月 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 「千葉を楽しむバス」 ーファンケル工場見学と野田の街歩きー実施 ・ 情報紙「縁 joy」編集、発行 ・ 「縁 joy 東北 大交流会」についての広報開始 ・ 情報紙「縁 joy」編集、発行 | 11月 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 被災者支援情報交換会・「縁 joy 東北 大交流会」実行委員会開催 ・ 「縁 joy 東北 大交流会」開催準備 ・ 情報紙「縁 joy」編集、発行 | 12月 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 「縁 joy 東北 大交流会」開催 (12月初旬に千葉市で開催予定) ・ 情報紙「縁 joy」編集、発行 | 1月 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 被災者支援情報交換会開催 ・ 被災者支援、災害時対応をテーマにした学習会開催準備 ・ 情報紙「縁 joy」編集、発行 | 2月 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 被災者支援・災害時対応をテーマにした学習会開催準備 ・ 情報紙「縁 joy」編集、発行 |
| 6月 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報紙「縁 joy」編集、発行 ・ 「千葉を楽しむバス」実施準備 ・ 被災者支援をテーマにした学習会の開催準備 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7月 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 被災者支援情報交換会・「縁 joy 東北 大交流会」実行委員会開催 ・ 情報紙「縁 joy」編集、発行 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8月 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 「千葉を楽しむバス」 ーファンケル工場見学と野田の街歩きー参加者募集 ・ 情報紙「縁 joy」編集、発行 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9月 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 被災者支援情報交換会・「縁 joy 東北 大交流会」実行委員会開催 ・ 「千葉を楽しむバス」実施準備 ・ 被災者支援をテーマにした学習会開催 ・ 情報紙「縁 joy」編集、発行 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10月 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 「千葉を楽しむバス」 ーファンケル工場見学と野田の街歩きー実施 ・ 情報紙「縁 joy」編集、発行 ・ 「縁 joy 東北 大交流会」についての広報開始 ・ 情報紙「縁 joy」編集、発行 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 11月 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 被災者支援情報交換会・「縁 joy 東北 大交流会」実行委員会開催 ・ 「縁 joy 東北 大交流会」開催準備 ・ 情報紙「縁 joy」編集、発行 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12月 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 「縁 joy 東北 大交流会」開催 (12月初旬に千葉市で開催予定) ・ 情報紙「縁 joy」編集、発行 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1月 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 被災者支援情報交換会開催 ・ 被災者支援、災害時対応をテーマにした学習会開催準備 ・ 情報紙「縁 joy」編集、発行 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2月 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 被災者支援・災害時対応をテーマにした学習会開催準備 ・ 情報紙「縁 joy」編集、発行 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | |
|-------------------|---|
| | <p>3月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被災者支援、災害時対応をテーマにした学習会開催 ・情報紙「縁 joy」編集、発行 <p>・千葉県内各地で開催される「交流サロン」の支援を通年で行います。</p> |
| <p>事業実施体制</p> | <p style="text-align: right;">〈事業実施責任者〉</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>情報交換会・実行委員会</p> <p>〔支援団体、臨床心理士、保健師、自治体職員等をメンバーとして、定期開催〕</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>特定非営利活動法人 ちば市民活動・市民事業サポートクラブ（当団体）</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">情報共有</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>ちば NPO 協議会 （会員 46 団体。千葉県内の NPO 間の情報交換や連携を目的とした事業を実施）</p> <p>〈学習会等の開催協力〉</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>浪江町復興支援員千葉県駐在 （当団体内に 3 名の浪江町役場職員が駐在。浪江町民の支援を行っている）</p> <p>〈交流会等の企画についての周知等〉</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">情報共有</p> |
| <p>事業終了後の展開</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・福島県を中心とする東北 3 県から被災者への継続的な支援、千葉県が被災した際に迅速な対応が可能となるよう NPO や自治体、企業等のネットワークづくりを継続します。 ・被災者の生活への不安が軽減できるよう、支援の広がりにつながる情報発信を継続します。 |
| <p>事業の先進性・普及性</p> | <p>福島県からの被災者の避難先は散在していて、被災者への被災元、避難先の自治体の直接的な支援は難しい状況です。震災から 3 年が過ぎ、避難先の暮らしになじめず、疎外感、孤立感を持っている被災者も少なくありません。見過ごされがちな県外避難者の状況についての理解を進め、支援の広がりを作ることは、福島県民のアイデンティティを保つこと、被災者の生活再建につながると考えます。</p> <p>また、前年度事業の一環で立ち上げた支援団体を主な構成員とする「情報交換会」に避難先自治体の職員の参加を進めることで、行政と協働する形で被災者支援の促進ができると考えます。また、本事業で構築したネットワークは、千葉県において大規模災害が起きた際の対応にも有用と思われる。</p> |
| <p>特記事項</p> | <p>平成 25 年度実施の本事業の実施においては、被災者間、被災者と支援者間等の交流を主目的としていました。震災から 3 年が過ぎ、被災者の状況も変わりつつあります。今年度の事業は昨年度の事業をベースに、被災者ひとりひとりの暮らしの不安をやわらげ、生活再建に向けた支援を柱にして実施したいと思えます。</p> |

第3号様式（第4条関係）

地域づくり総合支援事業（ふるさと・きずな維持・再生支援事業）
収支予算書

申請者名 特定非営利活動法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ

【収入の部】

（単位：千円）

| 区 分 | 平成 年度 予 算 額 | 明 細 |
|--------------------------|----------------|--|
| ふるさと・きずな維持・再生 支援事業補助金 | 2,744 | |
| 自己資金（負担者名） | 617 | |
| | | |
| 事業収入 | | |
| その他収入 | 70 | |
| 参加費 | 70 | バス旅行参加費 1,000 円×40 名、学習会参加費 500 円×30 名×2 回 |
| | | |
| 収入合計 | 3,431 | |

【支出の部】

（単位：千円）

| 区 分 | 平成 年度 予 算 額 | 明 細 |
|-------------|----------------|--|
| 人件費（共済費を含む） | 2,128 | @8,000 円×10 日×10 か月=800,000 円 @8,000 円×15 日×10 か月 1,200,000 円 情報紙編集・発送業務@800 円×4h×4×10 か月=128,000 円 |
| 報償費 | 179 | 学習会講師謝金@28,000 円×1 人×2 回=56,000 円 学習会事例報告者謝金@5,000 円×3 人×2 回=30,000 円 交流会講師等謝金@9,300 円×10 人=93,000 円 |
| 旅費 | 254 | 講師交通費@3,000 円×8=24,000 円 事務局交通費@20,000 円×10 か月=200,000 円 交流会講師等交通費 30,000 円 |
| 需用費 | 330 | |
| 消耗品費 | 80 | @8,000 円×10 か月 |
| 燃料費 | 30 | 学習会、バス旅行下見等の際の車利用 |
| 印刷製本費 | 220 | 情報紙印刷（2,000 部）@17,000 円×10=170,000 円 |

| | | |
|----------|-------|--|
| | | バス旅行、「縁 joy 東北 大交流会」、学習会のチラシ印刷 @10,000円×5=50,000円 |
| 役務費 | 170 | |
| 通信運搬費 | 150 | (メール便7,000円、切手代1,000円、電話代7,000円) ×10か月 |
| 手数料 | 10 | 振込手数料 |
| 保険料 | 10 | 「縁 joy 東北 大交流会」、バス旅行の際の保険料 |
| 使用料及び賃借料 | 370 | 貸切大型バス120,000円 「縁 joy 東北 大交流会」時の送迎用バス100,000円 学習会会場使用料@15,000円×2=30,000円 「縁 joy 東北 大交流会」機材借用料120,000円 |
| 委託料 | 0 | |
| 支出合計 | 3,431 | |

注1 用紙の大きさは、A列4番とすること。欄が足りない場合は、適宜追加してください。

注2 「明細」欄には各区分の積算内訳として、名称、数量、単価、金額を必ず明確に記載すること。なお、「明細」については別紙として添付しても差し支えない。仕様については別途資料を添付すること。

注3 行政による他の補助事業も併せて利用する場合は、各補助金の用途を明確に区分し、この資金計画には、ふるさと・きずな維持・再生支援事業補助金を使用する部分の収支のみ記載すること。他の補助事業にかかる収支についてはこの資金計画には計上せず、別様式にて収支予算書を添付すること。また、他の補助事業の内容が分かる補助金交付要綱、要領等、用途の区分が分かる資料を添付すること。